

児童が地域と防災を学ぶ

NEWS&
TOPICS
6月29日



長島町の地域自治区と自主防災会議が、長島小学校で地域防災スクールを開催しました。同校では5、6年生に防災などを学ぶ「命を守る授業」を実施しており、この日は6年生73人が三つに分かれ、震度7の地震体験、初期消火体験、簡易担架づくり体験を順に行いました。

大型麻雀に手と頭をフル稼働

NEWS&
TOPICS
6月26日



市社会福祉協議会が中野方コミセンで「コミュニケーション麻雀教室」を開きました。「飲まない、吸わない、賭けない」をモットーに、縦、横、厚さとも通常の4倍サイズの積み木のような札を使うのが特徴。この日は初心者も分かるゲームのさわりを全員で楽しみました。

天然老松が見守る薪能を宣伝

NEWS&
TOPICS
7月6日



8月27日に開催される「いわむら城址薪能」の実行委員会メンバーが市役所を訪れ、市長に見どころなどを宣伝しました。32回目を迎える今回は、重要無形文化財総合指定保持者の辰巳満次郎さんらによる能「殺生石」と「花月」、狂言「太刀奪」、仕舞「霸王」が上演されます。

いい汗かいて認知症を予防

NEWS&
TOPICS
7月3日



大井町1区(422世帯)では、毎月第1日曜日に住民が集まり、体操などを通じて健康づくりと認知症予防の活動を行っています。7月は、60歳代から90歳代の22人が吉田宏子さんを講師に迎え、筋肉を鍛える「貯筋運動」やラジオ体操などを約1時間行いました。

図書館はイベントめじろ押し

NEWS&
TOPICS
7月9日



第10回を迎えた市中央図書館の天の川イベント。初日は恒例の「古本リサイクル市」が開かれました。市民から提供された2,700冊と図書館で廃棄する1,300冊、合わせて4,000冊が用意され、これらを求めて150の方が開館前から列を作り、目当ての本を探していました。

健康な歯の児童生徒を表彰

NEWS&
TOPICS
7月7日



市学校保健会総会が岩村コミュニティセンターで開催され、小学生25人と中学生15人合わせて40人が歯の優良賞を受賞しました。総会には岩邑小学校の後藤凱君と杉本姫夏さん、岩邑中学校の矢頭龍君と家崎萌さんが出席。柘植久裕会長から賞状と記念の盾を受け取りました。

情報BOX
えな

人とまち
恵那の今を
お届けします



見て触れて科学の面白さを体感

NEWS&
TOPICS
7月23日



こどもフェスタの第15回を記念した「青少年のための科学の祭典」が恵那文化センターで開かれました。科学の面白さや楽しさを感じてもらおうと、ペットボトルで雲を作ったり、岩を砕いて化石を発掘したりするなど40のコーナーが用意され、小学生や親子連れら2015人が科学の不思議を体験しました。

NEWS&TOPICS
ニュースと話題

HAPPY BIRTHDAY
1歳になりました

HUMAN WATCH
輝く恵那人

お誕生日おめでとう!

1歳になりました

HAPPY BIRTHDAY わが家のBABY 8月生まれ

募集中

もうすぐ1歳

平成27年9月生まれのお子さんを募集

顔全体を写してね!

9月に1歳の誕生日を迎えるお子さんの写真を募集します。写真(なるべく1人で胸から上で顔全体が写っているもの)の裏に①住所②氏名(ふりがな)③生年月日④性別⑤電話番号⑥両親の氏名⑦28字以内のコメント⑧ケーブルテレビ放映の可否-を添えて、8月15日(月)までに申し込んでください。申し込み多数の場合は先着順で掲載します。

□申し込み・問い合わせ
〒509-7292(住所不要) 市長公室広報広聴係
☎26-2111(内線323)

1歳おめでとう
みんなの笑顔は
大好き♡

ゆい
田村 優衣ちゃん
父 隆直さん 母 真奈美さん

産まれてくれて
ありがとう♡美
しく咲き誇れ。

らん
市川 らんちゃん
父 泰孝さん 母 生久代さん

1歳おめでとう
う。幸せを
ありがとう♡

たいせい
多賀 大晴くん
父 健一さん 母 鮎美さん

大好きな凧君、
1歳の誕生日お
めでとう。元気
に育ってね。

ふう
各務 凧くん
父 守昭さん 母 和未さん

※コミセン=コミュニティセンターの略

新田さんの方言への思いは昭和の時代にさかのぼる。昭和15年に教師になるも、その2年後に徴兵され戦地へ。そこでは東濃地方出身者は自身を含めて4人しかおらず、方言とはほぼ無縁だった。終戦の年に恵那に帰ってきた時に近所のおばさんに「おまえさま、まめでよう帰って

3年の歳月をかけて、東濃民俗方言かるたを今年の6月に新田鉦三さんが完成させた。かつては当たり前のように日常会話で使われていた方言。地域の文化というべきものだが、最近ではあまり聞かれなくなってきた。若い人は標準語しか使わず、方言は使われてもほんの少し。多くが使われなくなり、意味も分からなくなってきた。自分たちが使っていた文化が無くなっていくのは悲しい」と新田さんは話す。その思いから、上矢作町出身で元中部大学助教授の大橋和華さんと方言をかるたという形で残し、伝えていこうと考え、方言の意味やかるたにする方言の選定作業を進めてきた。

学ぼう伝えよう
輝く
恵那人
142



方言をかるたで伝える
後世に伝えたいふるさとの方言文化

□プロフィール

大正9年12月生まれ。座右の銘は「一期一会」。思い出の方言は、昔をしのんで「ひだるい（腹が減った）思いをした」。



恵那で輝いている旬な人を紹介します

大井町御所の前
新田 鉦三 さん 95歳

いでたなも（あなた、元気でよく帰ってきたね）と言われ、「ふるさとへ帰ってきたと感じた瞬間が、今でも忘れられない」と当時を振り返る。かるた作りはいろいろなと時間がかかったが、選んでいる時は楽しかった。その反面、一番苦労したのがかるたの絵である。「方言は動作を表しているの、動きを分かりやすく伝えるような絵」が必要だった。共に製作してきた大橋さんの知人で、春陽会会友の川口環子さんと出会い、良い絵を描いてもらい解決した。完成されたかるたは恵那市、中津川市内の小学校や中学校、福祉施設に寄贈した。「方言を使い、心と心をつなげてほしい」と思いを話す。これからは「東濃民俗方言かるた第2段」や「ことわざかるた」を製作してみたいと、まだまだやりたいことがたくさんあり、今後の活動が楽しみである。



▲作製された「東濃民俗方言かるた」

東京五輪の事前合宿誘致へ

NEWS&
7月14日
TOPICS



2020年に開催される東京オリンピック・パラリンピックのボートとカヌー競技に出場する各国の事前キャンプ地を本市に誘致するための協議会が発足し、初会合が開かれました。笠置峡などを練習場とすることで、市の観光振興と地域の活性化、スポーツの振興を図ります。

高齢者の交通事故防止を誓う

NEWS&
7月11日
TOPICS



市消防防災センターで交通安全市民大会が開かれ、市民や行政の関係者約100人が参加しました。大会では交通死亡事故ゼロを長年継続しているとして、5千日以上の中野方町と3千日以上武並町、笠置町、串原の計4地区の自治連合会に賞状が贈られました。

大井と長島が合同パトロール

NEWS&
7月15日
TOPICS



小中学校の夏休みを前に、青少年の見守りと自主防犯意識を高めるため、大井町と長島町の住民によるパトロール隊が合同で一斉パトロールを行いました。140人の参加者は蛍光色の帽子とベストに身を包み、グループに分かれて、パトロールに出発していきました。

山岡駅に新たな名所が誕生

NEWS&
7月15日
TOPICS



明知鉄道で廃車になった車両を改装した喫茶店が山岡駅にオープンしました。名称は公募の結果、明智小5年の原透和さんが応募した「森の列車カフェ」が採用されました。営業は毎週金曜、土曜、日曜の3日間。地元山岡町の細寒天を使った手作り甘味などが楽しめます。

暮らしの中で遊ぶ浮世絵展

NEWS&
7月22日
TOPICS



中山道広重美術館では8月28日まで企画展「うきよえあそび」を開催しています。風景画や人物肖像に注目が集まる浮世絵ですが、江戸から明治期は、暮らしの中の実用品でもありました。この企画展では、戯画やおもちゃ絵など、幅広い浮世絵の魅力を知ることができます。

定住のため若者が意見交換

NEWS&
7月16日
TOPICS



恵那文化センターで第1回若者会議が開かれました。若者世代のニーズを総合計画の実施計画に反映させ、若者世代の「移住・定住」と「人口減少対策」の実現を目指します。会議は市内全13地域の25歳から44歳まで46人が参加し、住み続けるための意見を交換しました。